

RC造等住宅の熱橋形状等 に応じた線熱貫流率(Ψ)検索ソフト β版のご案内

本Excelは断熱層を貫通する形状と断熱形式に応じた線熱貫流率 (Ψ) の値を検索して表示するソフトです。動作確認はWindows版のExcel 2003で行っております。

形状によっては未だ登録されていない値もございますが、以下の使用手順書をお読みのうえ日々の業務にお役立てください。

☆使用前の注意☆

- ①本Excelでは「マクロ」を使用しています。Excelの設定でマクロを「有効」にしてからご利用ください。⇒p3を参照してください。
- ②本Excelを使用したことによる損害、または第三者からのいかなる請求についても一般社団法人住宅性能評価・表示協会は一切の責任を負いません。
- ③本Excelの著作権は一般社団法人 住宅性能評価・表示協会に帰属します。
- ④本Excelの全部または一部を通信回線等により頒布すること、媒体の如何を問わず複製し第三者に譲渡、販売、貸与、使用許諾することを禁止します。

※解凍ソフトのご使用について※

本ソフトは完全解凍をしないと正しく作動しません。自己解凍型の圧縮・解凍ソフトを用いて、本ソフトのLZHを展開すると完全解凍されない場合がありますので、その場合は他の解凍ソフトを用いてください。

検索ソフトの使用手順書

目次

はじめに

1-1. 画面の使い方	3ページ
1-2. 画面の使い方(断熱補強仕様について)	4ページ
2. エラーについて	6ページ
3. 「 Ψ なし」について	7ページ
4. 「要問合せ」とその回答について	7ページ
5. 問合せシート記載例	8ページ
6. 入力例①	9ページ
6. 入力例②	10ページ

1. 本検索ソフトのパソコン内の保存場所について

- ①本検索ソフトは解凍後に自動生成される「hyouka_database」という名のフォルダから移動させないでください。
- ②「hyouka_database」フォルダはお使いのパソコンのローカルにあるハードディスクドライブに保存してください。ネットワークドライブ等では正しく作動しない場合があります。

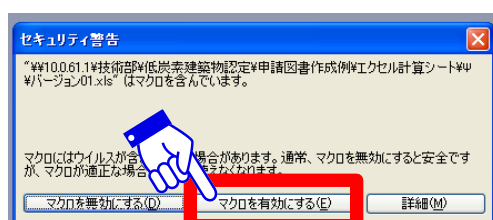
2. 本検索ソフトの更新方法について

検索ソフトの更新ファイルは一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページ内にある「所管行政庁への提供情報」および「会員専用ページ」にアップロードします。更新ファイルをダウンロードした後の更新操作については更新ファイル同封予定の手順書に従ってください。

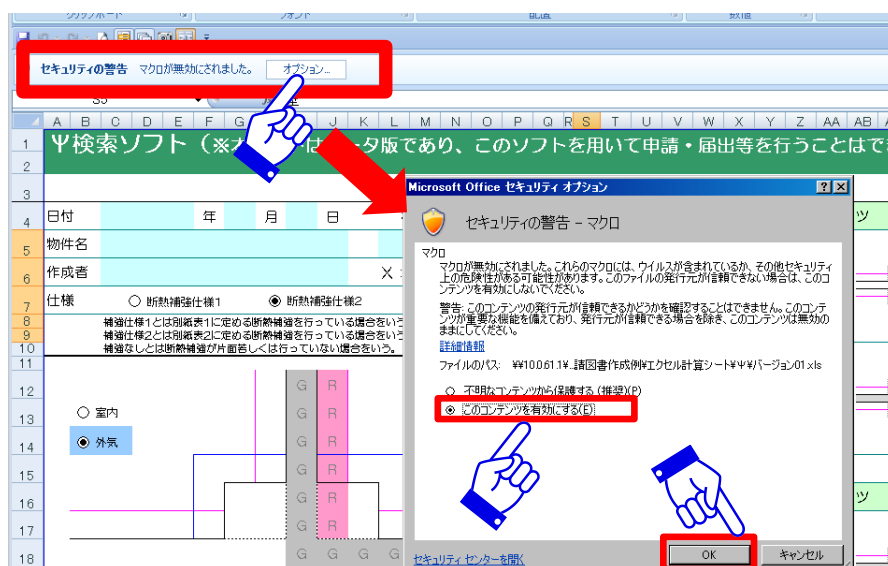
3. マクロの有効化について

本検索ソフトを開いて「セキュリティの警告」が表示された場合は「マクロを有効にする」を選択して下さい。

Excel2003の場合



Excel2007の場合




※ なおExcelのセキュリティ設定によっては上記のメッセージすら表示されず、マクロが無効となる場合があります。以下の設定を試みた後、Excelを一度閉じて再度開いて、上記の方法を試みてください。

また、上記のメッセージが表示されないのに使用できない場合若しくは下記の設定が変更できない場合は、ご使用になっているWindows PCに管理者権限でログインしていない事などが原因として考えられます。組織のシステム管理者にご確認ください。

Excel2003の場合

画面上部のメニューより、ツール⇒マクロ⇒セキュリティ⇒セキュリティレベル⇒中を選択

Excel2007の場合

画面左上のOfficeボタン  より、Excelのオプション⇒セキュリティセンター⇒セキュリティセンターの設定「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選択

検索ソフトの手順書

1-1. 画面の使い方

① プライ計算シートの 水色 部分に基本情報を入力してください。

「取り消し」ボタンをクリックすると、選択した「躯体パーツ」、「断熱パーツ」が画面からクリアされます。

② 「躯体パーツ」から躯体の形状をクリックしてください。
T型、+型の場合は複数クリックし、形状を作成してください。
柱・梁では、点線で囲まれた箇所のみ画面に反映されます。

線熱貫流率計算ソフト

日付	2013 年 10 月 29 日	構造熱橋部 No.	11
物件名	〇×ビル	3 階	● 柱 ○ 梁
作成者	〇〇設計株式会社	X:	11 Y: 1~5
仕様	● 断熱補強仕様1 ○ 断熱補強仕様2 ○ 断熱補強なし		

補強仕様1とは別紙表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強仕様2とは別紙表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強なしとは断熱補強が片面若しくは行っていない場合をいう。

取り消し

次ページ参照

○ 室内 ● 外気		○ 室内 ● 外気
○ 室内 ● 外気		○ 室内 ● 外気

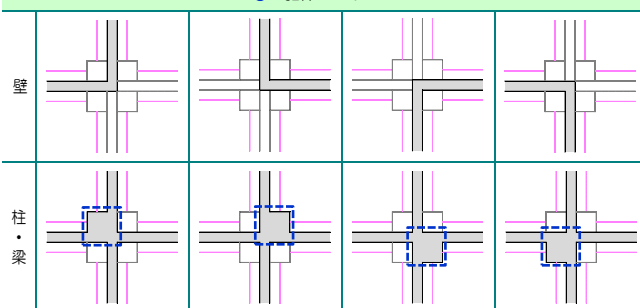
memo

計算

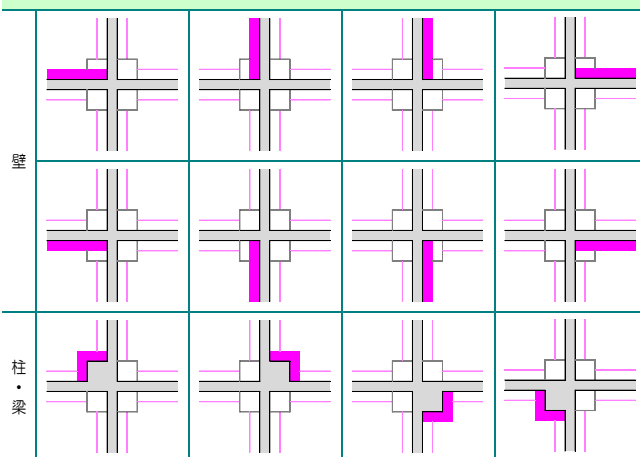
線熱貫流率

1.10

躯体パーツ



断熱パーツ



③ 「断熱パーツ」から断熱の対象箇所をクリックしてください。

④ 画面(点線)から「室内」、「外気」をそれぞれ選択してください。

⑤ 「計算」ボタンをクリックすると、線熱貫流率が出力されます。

※②～④を入力する順番は、前後しても大丈夫です。

1-2. 画面の使い方(断熱補強仕様について)

断熱補強仕様1、断熱補強仕様2、断熱補強なしの選択方法については、以下を参照してください。

説明

L

仕様

○ 断熱補強仕様1 ○ 断熱補強仕様2 ● 断熱補強なし

補強仕様1とは別紙表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強仕様2とは別紙表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強なしとは断熱補強が片面若しくは行っていない場合をいう。

取り消し

別紙

表1

断熱工法	断熱補強の仕様	地域区分			
		1、2	3、4	5～7	8
内断熱	断熱補強の範囲(mm)	900	600	450	—
	断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.6			—
外断熱	断熱補強の範囲(mm)	450	300	200	—
	断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.6			—

※ 上表において、対象となる熱橋部で内断熱工法及び外断熱工法が併用されている場合は、内断熱工法と見なす。

表2

熱橋部の形状		断熱補強の部位・範囲・基準値	告示別表第4に掲げる地域の区分			
			1、2	3	4	5～8
熱橋部の梁、柱が室内側に突出している場合	床面	断熱補強の範囲(mm)	500	200	150	125
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.4	0.1	0.1	0.1
	壁面	断熱補強の範囲(mm)	100			
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.1			
熱橋部の梁、柱が室外側に突出している場合	床面	断熱補強の範囲(mm)	200	75	50	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	
	壁面	断熱補強の範囲(mm)	150	75	50	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	
熱橋部の梁、柱が室内側、室外側いずれにも突出していない場合	床面	断熱補強の範囲(mm)	200	100	75	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	
	壁面	断熱補強の範囲(mm)	200	75	75	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	

2. エラーについて

- ・「外気」と「室内」を全て同じものを選択すると、エラーになります。

線熱貫流率計算ソフト

日付	2013 年 10 月 29 日	構造熱橋部 No.	11
物件名	○×ビル	3 階	● 柱 ○ 梁
作成者	□□設計株式会社	X:	11 Y: 1~5
仕様	<input checked="" type="radio"/> 断熱補強仕様1 <input type="radio"/> 断熱補強仕様2 <input type="radio"/> 断熱補強なし		
<small>補強仕様1とは別添表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。 補強仕様2とは別添表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。 補強なしとは断熱補強が片面もしくは行っていない場合をいう。</small>			
取り消し			

壁

柱・梁

壁

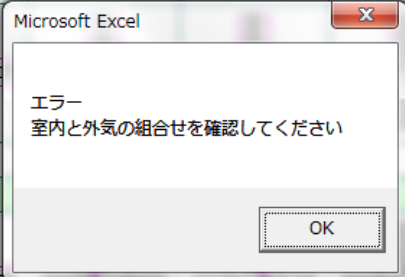
柱・梁

memo

計算

線熱貫流率

0.60



- ・同じ空間にもかかわらず、「外気」と「室内」で別々のものを選択すると、エラーになります。

線熱貫流率計算ソフト

日付	2013 年 10 月 29 日	構造熱橋部 No.	11
物件名	○×ビル	3 階	● 柱 ○ 梁
作成者	□□設計株式会社	X:	11 Y: 1~5
仕様	<input checked="" type="radio"/> 断熱補強仕様1 <input type="radio"/> 断熱補強仕様2 <input type="radio"/> 断熱補強なし		
<small>補強仕様1とは別添表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。 補強仕様2とは別添表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。 補強なしとは断熱補強が片面もしくは行っていない場合をいう。</small>			
取り消し			

壁

柱・梁

壁

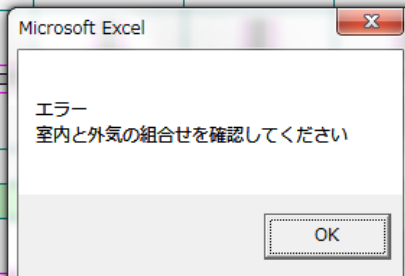
柱・梁

memo

計算

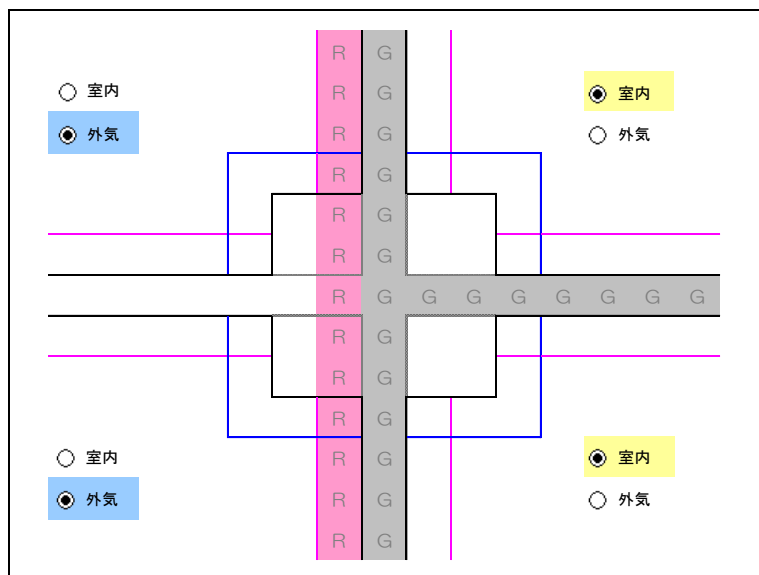
線熱貫流率

ψなし



3. 「 Ψ なし」について

・熱橋がない場合は、「 Ψ なし」になります。



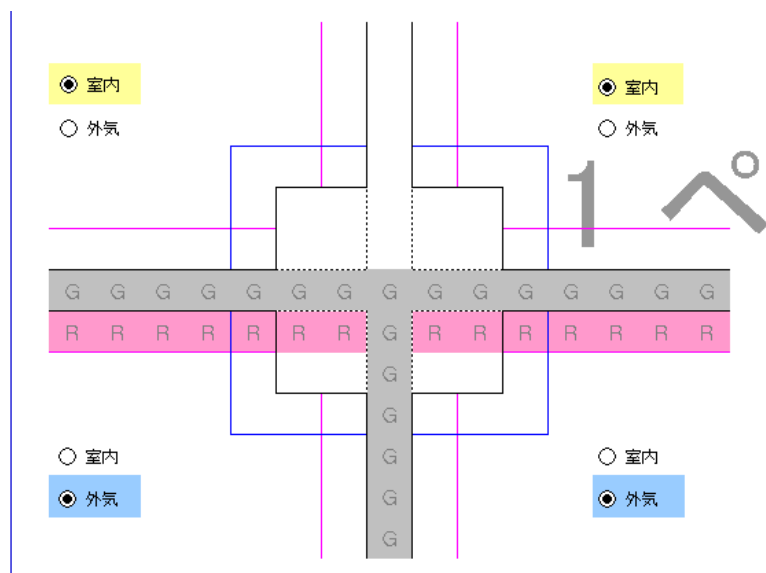
memo

線熱貫流率

Ψ なし

4. 「要問合せ」とその回答について

・検索ソフト内のデータベースに登録がない場合は「要問合せ」と表示されます。



memo

線熱貫流率

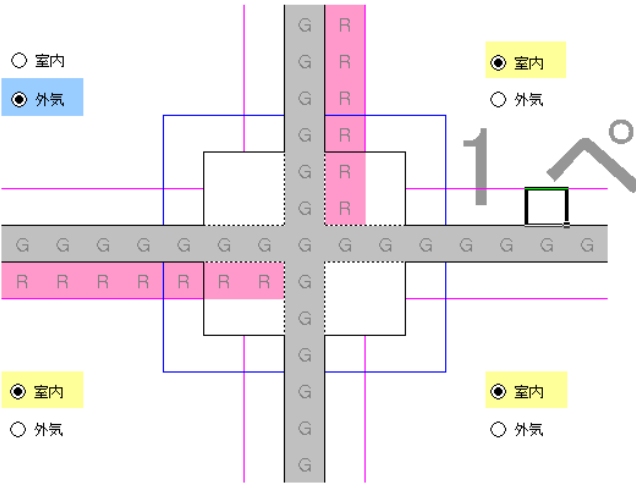
要問合せ

※問い合わせの回答にはお時間を頂く場合がございます。

お問い合わせ前にご確認いただきたいこと

本データベースにおいては登録されているパターンの形状は全て、「断熱補強なし」の場合です。

従って「断熱補強を含めた形状」にて検索を行うと、正しく結果がヒットしないことになります。検索は「断熱補強なし」の形状で行ってください。

仕様	
<input type="radio"/> 断熱補強仕様1	<input type="radio"/> 断熱補強仕様2
<input checked="" type="radio"/> 断熱補強なし	
<small>補強仕様1とは別紙表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。 補強仕様2とは別紙表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。 補強なしとは断熱補強が片面若しくは行っていない場合をいう。</small>	
<div>取り消し</div>	
<div><div><div><input type="radio"/> 室内</div><div><input checked="" type="radio"/> 外気</div></div><div><div><input checked="" type="radio"/> 室内</div><div><input type="radio"/> 外気</div></div></div> <div></div> <div><div>memo</div><div>計算</div><div>線熱貫流率 1.15</div></div>	

線熱貫流率 (Ψ) 問合せシート (記載例)

所属機関名	〇〇評価センター
所属部署	性能評価部
担当者名	〇〇 〇〇
電話番号	××××－××××
FAX番号	××××－××××
メールアドレス	××××@〇〇.com

下の枠に要問合せと表示された形状のスクリーンショットを貼りつけてください。

● 室内
○ 外気

● 室内
○ 外気

○ 室内
● 外気

○ 室内
● 外気

memo

計算

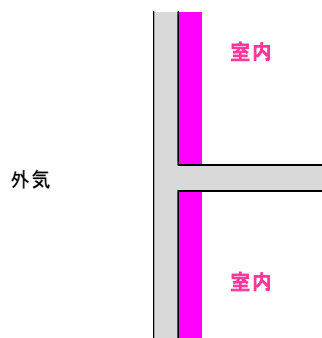
線熱貫流率
要問合せ

送り先は mail:webmaster@hyoukakyoukai.or.jp

又は FAX:03-5229-7443 まで

5. 入力例①

◎ T型、下の断熱位置の計算例



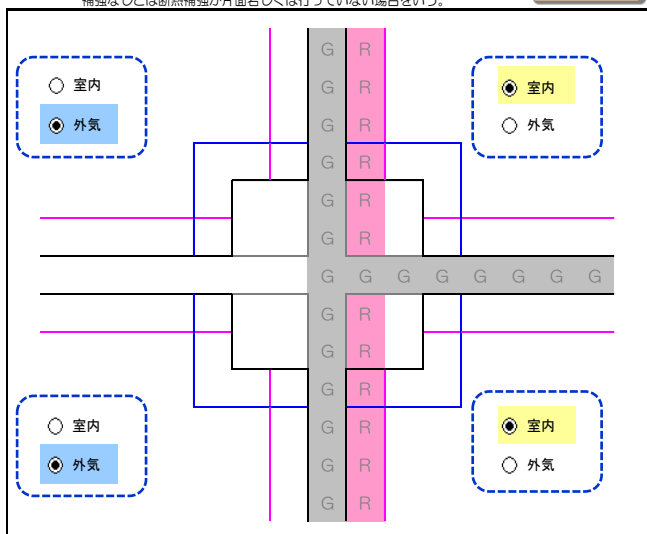
① 「躯体パーツ」から☆の形状をそれぞれクリックしてください。

線熱貫流率計算ソフト

日付	2013	年	10	月	29	日	構造熱橋部 No.	11
物件名	〇×ビル		3	階	●	柱	○	梁
作成者	□□設計株式会社		X:	11	Y:	1~5		
仕様	● 断熱補強仕様1		○ 断熱補強仕様2		○ 断熱補強なし			

補強仕様1とは別紙表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強仕様2とは別紙表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強なしとは断熱補強が片面若しくは行っていない場合をいう。

取り消し



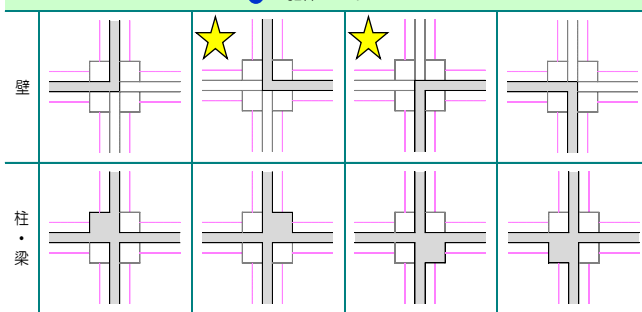
memo

計算

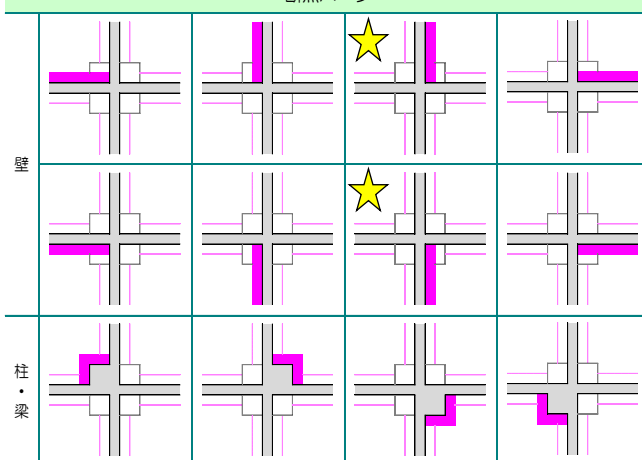
線熱貫流率

0.65

躯体パーツ



断熱パーツ



② 「断熱パーツ」から☆の形状をそれぞれクリックしてください。

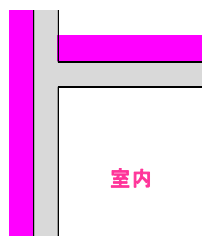
③ 画面(点線)から、「室内」、「外気」をそれぞれ選択してください。

④ 「計算」ボタンをクリックしてください。

6. 入力例②

◎ L型、下の断熱位置の計算例

外気



① 「躯体パーツ」から☆の形状をクリックしてください。

線熱貫流率計算ソフト

日付	2013	年	10	月	29	日	構造熱橋部 No.	11
物件名	○×ビル			3	階	● 柱	○ 梁	
作成者	□□設計株式会社			X:	11	Y:	1~5	
仕様	<input checked="" type="radio"/> 断熱補強仕様1 <input type="radio"/> 断熱補強仕様2 <input type="radio"/> 断熱補強なし							

補強仕様1とは別紙表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強仕様2とは別紙表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強なしとは断熱補強が片面若しくは行っていない場合をいう。

取り消し

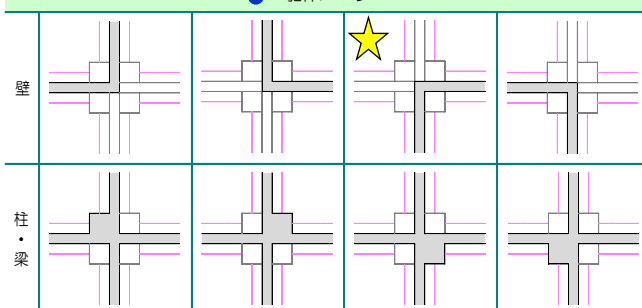
memo

計算

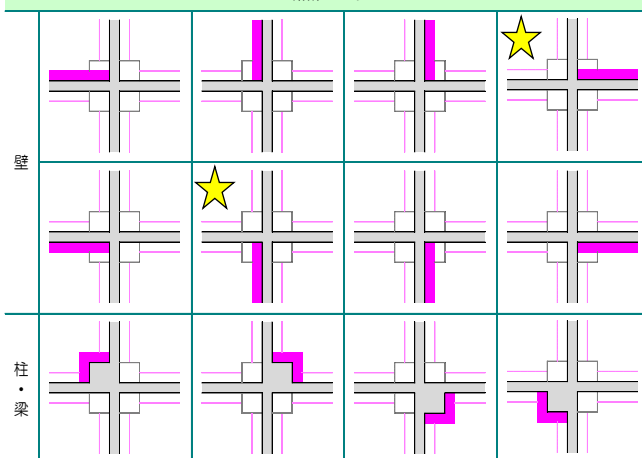
線熱貫流率

0.65

躯体パーツ



断熱パーツ

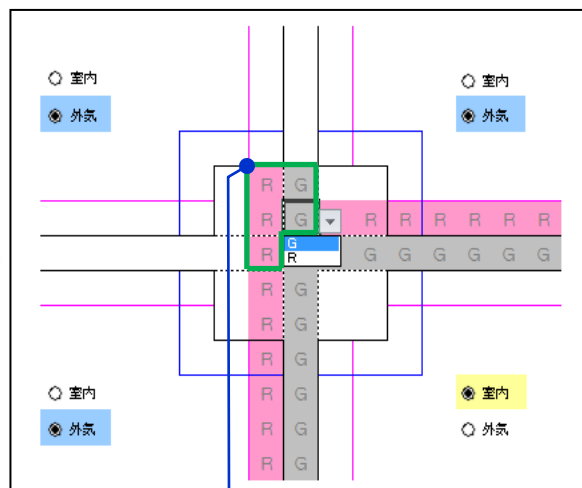
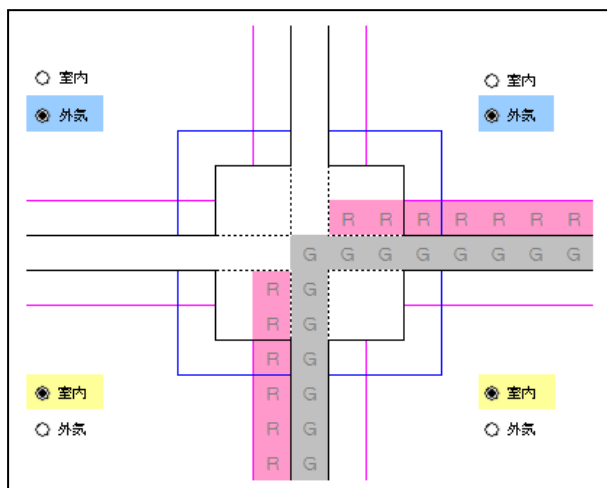


② 「断熱パーツ」から☆の形状をそれぞれクリックしてください。

③ 画面(点線)から、「室内」、「外気」をそれぞれ選択してください。

次ページへつづく

6. 入力例②



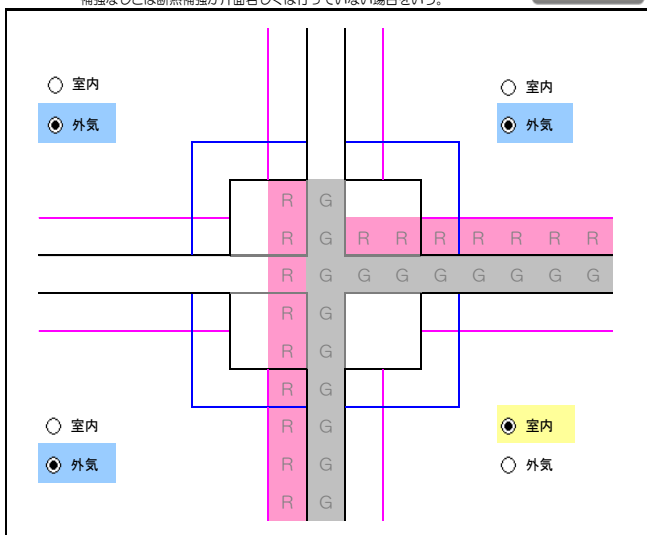
- ④ パラペットなどはプルダウンで選択してください。
G:コンクリート
R:断熱

線熱貫流率計算ソフト

日付 2013 年 10 月 29 日 構造熱橋部 No. 11
物件名 ○×ビル 3 階 ● 柱 ○ 梁
作成者 □□設計株式会社 X: 11 Y: 1~5
仕様 ● 断熱補強仕様1 ○ 断熱補強仕様2 ○ 断熱補強なし

補強仕様1とは別紙表1に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強仕様2とは別紙表2に定める断熱補強を行っている場合をいう。
補強なしとは断熱補強が片面若しくは行っていない場合をいう。

取り消し



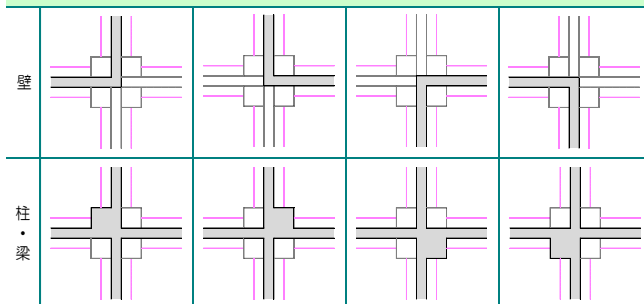
memo

計算

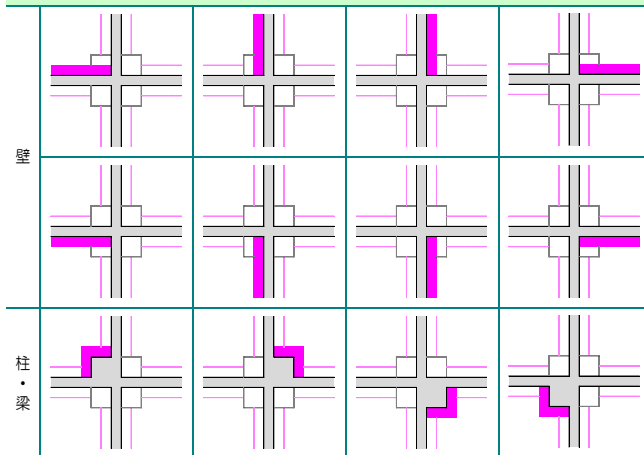
線熱貫流率

0.50

躯体/パーツ



断熱/パーツ



- ⑤ 「計算」ボタンをクリックしてください。